

「あさオレンジだより」

初回号（2020年9月）

安佐南区・安佐北区では広島市から委託を受けて、安佐医師会に、認知症初期集中支援チーム（オレンジ支援チーム）が配置されています。この度、オレンジ支援チームの活動を知っていただくために広報誌を発行することとしました。

初回はチームの支援の流れや対象者、チーム員の紹介をしたいと思います。

オレンジ支援チームの支援を通して、安佐地区の住みやすいまちづくりにも貢献できるよう、チーム一丸となって頑張ってまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

＜対象となる方＞

●40歳以上で自宅で生活し、認知症が疑われる方又は認知症の人で、次に該当する方

- ①認知症の診断を受けていない方 ②継続的な医療サービスを受けていない方
- ③適切な介護サービスに結びついていない方 ④介護サービスが中断している方
- ⑤医療・介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が強く、対応に困っている方



支援の流れ

👉 相談受付は対象者がお住いの地域包括支援センターです。

① 地域包括支援センターからオレンジ支援チームへ情報提供があります。



② 情報をチーム員や関係機関で整理、共有し、協議にて支援対象者が否かの判断をします。

③ 支援対象者を把握した後、医療系専門職と福祉・介護系専門職にて初回訪問を行います。

※) 当初の相談対応を行った機関、家族、本人が信頼している人の同行をお願いすることがあります。

※) チームはまず信頼関係を構築することを基本姿勢としています。

④ チーム員会議を行い、支援方針（計画・具体的な活動）の検討・決定を行います。

※) 関係機関にもチーム員会議への参加を依頼します。

⑤ 医療機関への受療支援、介護保険サービスの利用に関する支援、家族介護者への支援、介護保険サービス以外の社会資源の活用、権利擁護に向けた調整等、対象者に応じて必要となる初期の支援を集中的に行います。実施期間は概ね最長で6か月です。



⑥ チームの支援終了、今後の主たる支援機関へ引き継ぎの後、モニタリングを行います。

裏面へ→



安佐地区オレンジ支援チーム員のご紹介

【安佐南区】チーム員医師

頼島 敬 医師（よりしま内科外科医院）【チーム長】

村田 裕彦 医師（広島共立病院）

地主 和人 医師（地主クリニック）

箱守 英雄 医師（安佐病院）



【安佐北区】チーム員医師

山下 拓史 医師（安佐市民病院）【チーム長】

土手 慶五 医師（安佐市民病院）

高橋 祥一 医師（高陽ニュータウン病院）

増岡 俊治 医師（沖野医院）

真島 宏海 医師（児玉病院）

チーム員専門職

中原 直子（精神保健福祉士・社会福祉士）【安佐南区主担当】

倉本 佳恵美（社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員）【安佐北区主担当】

広重 三奈子（作業療法士・介護支援専門員）



オレンジ支援チームの支援の例をご紹介します。

【Aさん 80歳（女性）】

アパートで一人暮らし 最近買い物や病院にも外出する様子なく、ゴミの捨て間違いがみられるようになった。

1 地域包括支援センター担当者、民生委員（相談者）と自宅訪問

■地域との連携必須!!

2 家族（知人）、かかりつけ医と相談

■かかりつけ医との連携必須!!

3 訪問継続にて身体状況のチェックを行う

■本人との関係作り必須!!

4 専門医受診（診断）

5 介護保険申請 “◎ご本人はできるだけ今までの家で過ごしたい◎”

6 担当ケアマネジャー決定にて引継ぎ サービス利用での生活継続

（今後、成年後見制度申請や有料老人ホーム入所申し込みを検討することとなった）



初期集中支援チームにかかる費用は**無料**です。ただし本人が医療受診や介護サービス利用された場合、別途料金が必要です。

他にも「同じことを何度も言うようになった」「慣れた道を間違えるようになった」「入れ歯をよくなる」「薬の飲み忘れがある」等様々なエピソードがあります。本人・家族の事情等様々な背景があり、このように支援がスムーズにいくことばかりではありませんが、地域の皆様と協力し、認知症の「早期発見・早期診断・早期支援」の力になればと思います。

発行：一般社団法人安佐医師会 広島市北部在宅医療・介護連携支援センター

認知症初期集中支援チーム（オレンジ支援チーム）

広島市安佐南区八木5丁目35番2号 安佐医師会館内

TEL：082-555-5957 FAX：082-555-2708

